

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 327

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

1. 共通利用番号制実施に伴う 61 年度の申請手続きについて …… 1
2. マスストレージ (MSS) の継続手続きについて …………… 3
3. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用について …………… 3
4. 講習会資料についてのご案内 …………… 3

1. 共通利用番号制実施に伴う 61 年度の申請手続きについて

センターニュース No.320 でお知らせしましたように 4 月から共通利用番号制を実施します。61 年度からは 7 大学の大型計算機センターと文献情報センターのうち、主として利用するセンター（以下所属センターという）に利用申請して登録番号の交付を受ければ、他の 7 センター（所属センター以外のセンターを以下第二センターという）へは非常に簡単な手続きでしかも同一登録番号で利用できるようになります。これに伴い申請手続きが次のようになります。

1. 新しい登録番号について

A. 登録番号は 7 桁の共通形式（1 桁の英字と 5 桁の数字と 1 桁の英数字）になります。7 桁のうち先頭 6 桁を利用者番号と呼び、原則として 1 人に 1 つ与えられます。7 桁目は支払費目によって決まります。九大センターを所属センターとする場合は次のようになります。

（例）登録番号の先頭 2 桁は今回必ず A 7 となります。

現在の課題番号 F 1 2 3 4
新しい登録番号 A 7 1 2 3 4 A

B. パスワードの初期値は登録番号の 1 桁目の英字と支払責任者番号の数字部下 2 桁と経理責任者番号の数字部下 2 桁からなります。ただし、九大センターを所属センターとする継続申請は現在使用中のパスワードをそのまま使用できます。

（例）登録番号 A 7 1 2 3 4 A
支払責任者番号 U 7 2 3 5 6 A
経理責任者番号 V 7 9 9 1 3 A の時パスワードは A 5 6 1 3 となります。

*パスワードは、PASSWORD コマンドで変更できます。

C. 共用ファイルのデータセット名, MSSのデータセット名は, 現在のユーザ識別修飾子が7桁の登録番号となります.

(例)旧データセット名 F1234.ABC.FORT77

新データセット名 A71234A.ABC.FORT77

九大センターを所属センターとする場合は, センターで新データセット名に変更しますが, 第二センターとする場合は, 第二センター利用申請承認後4月中に利用者自身でデータセットを移してください. 移行はTSSのCOPYコマンドでできます.

2. 新しい支払責任者番号について

支払責任者番号は7桁の共通形式(1桁の英字と5桁の数字と1桁の英字)になります. 7桁目は支払費目によって決まります. 九大センターを所属センターとする場合は次のようになります.

(例)支払責任者番号の先頭2桁は必ずU7となります.

現在の支払責任者番号 101234

新しい支払責任者番号 U71234A

3. 61年度継続申請について

今年度センターに登録された方は, 継続の有無を確認する計算機利用申請書(継続用)を2月上旬に送付します. 九大センターを所属センターとする場合は, 2月末日までに連絡所を経由して申請してください. 九大センターを第二センターとする場合は不要です. 承諾書は3月末頃までに利用者へ送付します.

4. 61年度新規申請について

九大センターを所属センターとする場合は, 新様式の計算機利用申請書に必要事項を記入の上連絡所を経由して申請してください. 受付は3月1日から開始します. なお, 申請書類は連絡所に用意しています. 利用者は承認書が届いた後, 4月以降TSSコマンド等で第二センターへの利用申請ができます. 第二センターへ申請する時のTSSコマンド等は後日センターニュースでお知らせします.

5. 追加申請について

追加申請は次の場合に指定できます.

1. 支払費目が異なった予算で利用する場合
2. 異なる支払責任者番号で利用する場合
3. 同一の支払責任者番号で複数の登録番号が必要な場合(センターによっては受付られないことがあります.)

6. 九大を第二センターとする場合

所属センター利用申請承認後, そのセンターのTSSコマンド等で4月以降九大センターへ利用申請をしてください.

2. マスストレージ(MSS)の継続手続きについて

昭和61年度も引き続きマスストレージ(MSS)を利用される方は、3月20日(木)までに共同利用掛へ連絡ください。なお、取り消しを希望される方は、マスストレージ取消申請書を必ず提出してください。連絡のない場合は、年度初め1週間後に消去します。

おって、昭和61年度共通利用番号制に伴い、引き続きマスストレージを利用される方で、現在異なった課題番号で二つ以上のボリューム通し番号を与えられている方は、ボリューム通し番号が変わりますので、新年度からの利用に間に合うように変更通知を送付します。

備考 1. 計算機利用継続申請がなされていない場合は認められません。

2. 科学研究費の課題番号で利用されているマスストレージの継続はできません。

(共同利用掛 電(内)2505)

3. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用について

1. 利用期限及びデータセットの取り扱いについて

科学研究費による課題の有効期限は、昭和61年2月20(木)、及び受託研究費による課題の有効期限は、昭和61年2月26日(水)です。例年2月中はジョブ件数が多く混雑するため、特にD、Eジョブについては、早目に計算を依頼してください。また、有効期限切れとなる課題のデータセットは、3月8日に消去処理をおこないますので、必要なデータセットの保存処置をとってください。

2. ジョブの強制出力について

科学研究費、及び受託研究費のジョブについては、負担金請求作業のため有効期限の当日までに入力されたジョブはすべて強制出力をします。なお、強制出力できなかったジョブについてはキャンセルいたしますのでご了承ください。

3. ジョブのキャンセルについて

キャンセル処置については、科学研究費の場合には2月21日(金)、及び受託研究費の場合には2月27日(木)の17時までに計算結果を添えてプログラム相談室、または2階受付に調査依頼をおこなってください。また、連絡所からの利用者で、期日までに間に合わないと思われる方は、あらかじめ業務掛までご連絡ください。

(業務掛 電(内)2517)

4. 講習会資料についてのご案内

本年度に行った下記講習会の資料が若干余っていますので、希望者は、2月15日(土)までに共同利用掛(内線2505)にお申し出ください。先着順といたします。

- センター利用講習会
- SAS講習会
- N-1ネットワーク講習会
- TSS初級講習会
- INSPEC検索講習会
- PROLOG系言語講習会
- 図形処理(GRAPHMAN)講習会
- 第2回VP講習会

なお、今後講習会当日所用等で受講できなく、資料のみを希望される方は、各講習会の申し込み期限までに共同利用樹にお申し込みください。